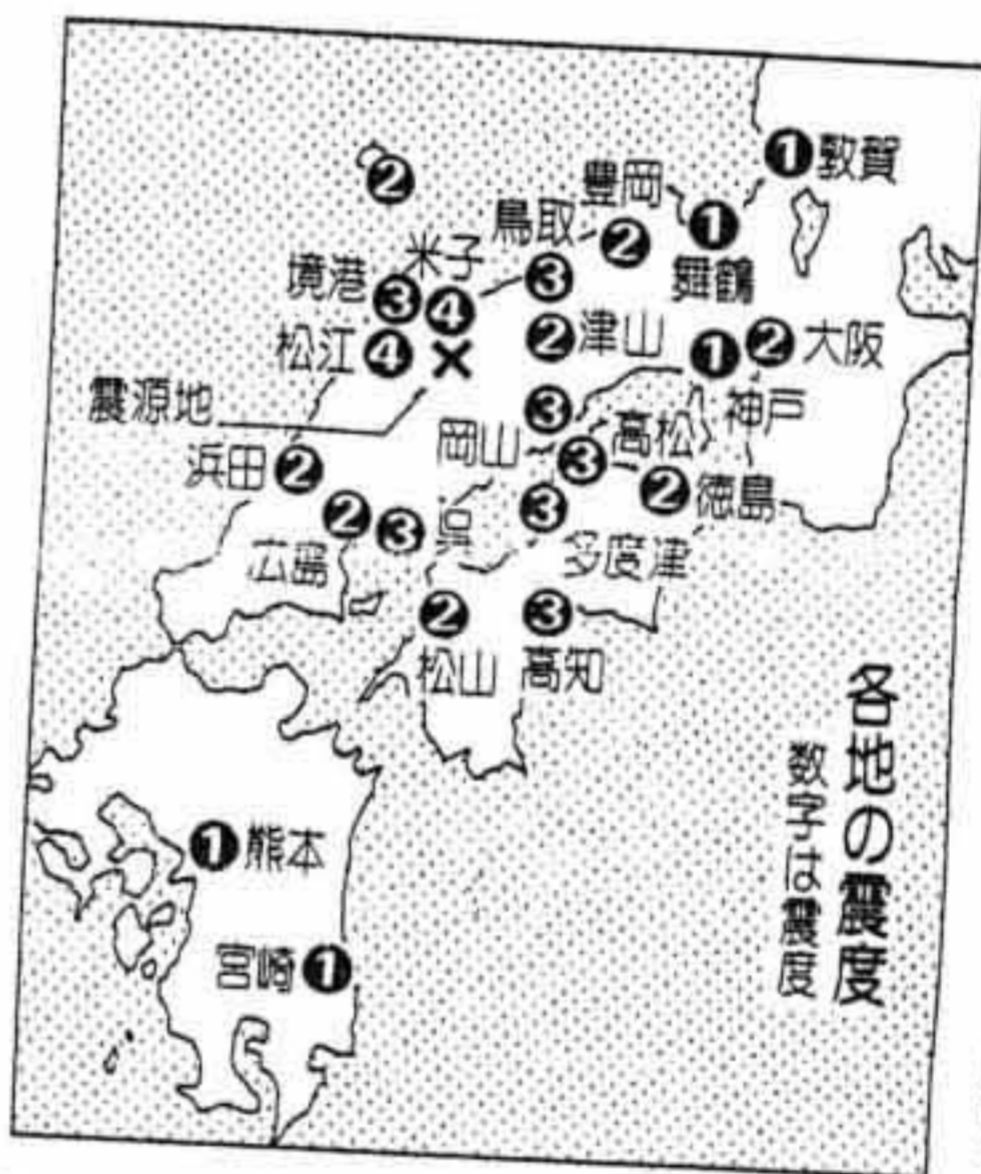


松江、米子で震度4

M 6.0 震源地は能義郡内

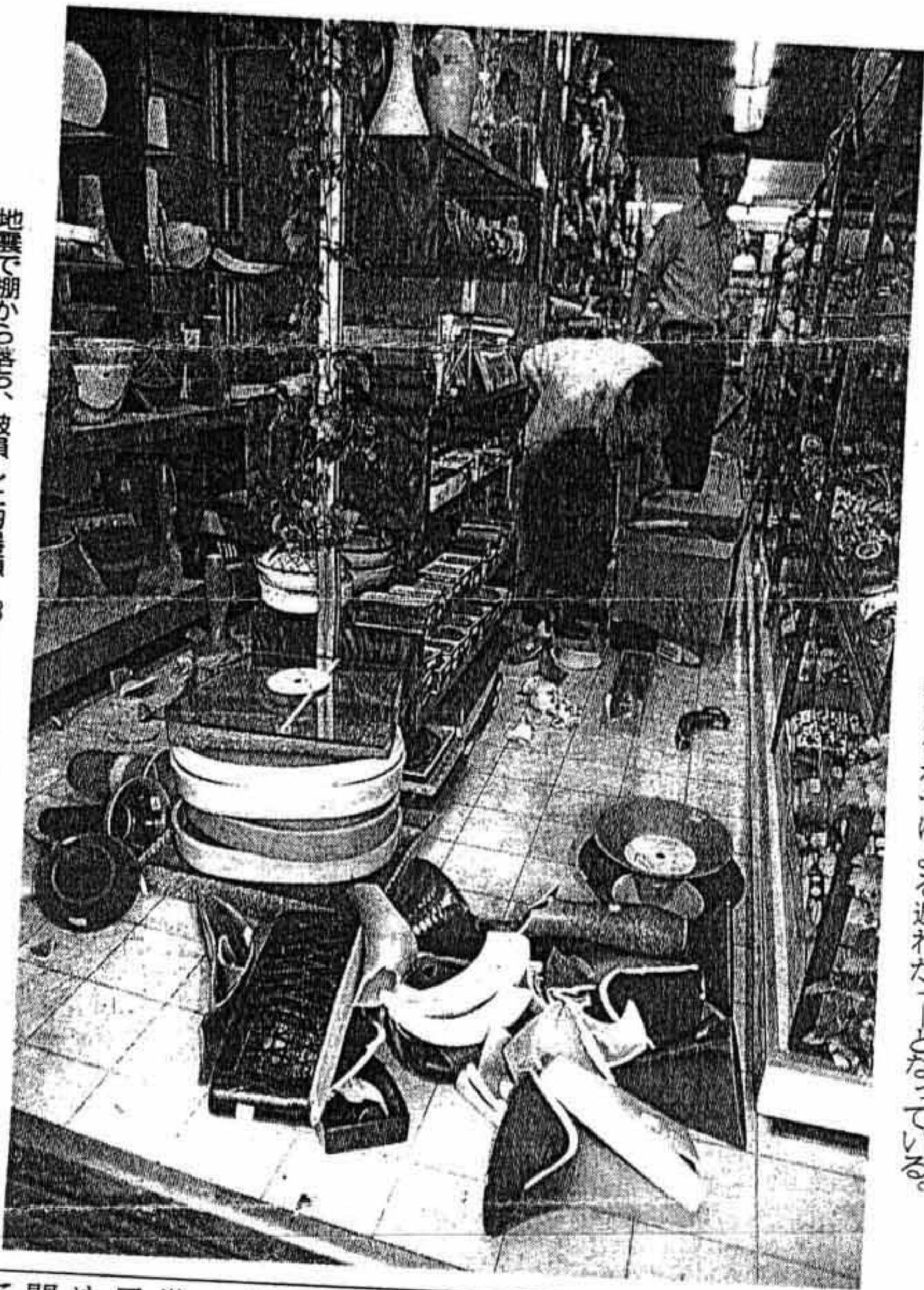
二十八日午前十時二十九分、島根県東部を震源地と



する地震があり、松江、米子で震度4の中震を記録するなど山陰地方中部を中心に中四国の広い範囲で観測された。震源の深さは地表に近いところ、マグニチュード(M)は6.0と推定される。松江で震度4を記録したのは昭和二十一年以来四十五年ぶり。津波の恐れはなかったが、JR伯備線、山陰線、木次線で徐行運転や一部運転見合わせによる遅れがとまっている。

(20、22、23面に関連記事)

松江地方気象台によると、震源地は広瀬、伯太町辺りで、震源の深さは地表から十メートルと推定される。同気象台では地震計の針が約一分間振れ続いた。また一分後の午前十時三十分、松江で震度2、米子、境港で震度1(微震)の余震があった。前夜の二十七日午後十一時五十九分には、鳥取県西部を震源地とする震度3の地震があり、米子で震度3、松江で震度2、浜田、西郷、岡山で震度1を記録している。



地震で棚から落ち、破損した陶器類。28日午前11時半、松江市白濁本町の陶器店

鳥取、島根両県警本部のまきめ(同日午後五時現在)では、伯太、広瀬、日南各町を中心に建物の亀裂九件、民家や役所の屋根がわら落下が相次ぎ発生したものの、けが人は出ていない。

伯太町母里では地震後約九分間、千二百一十一戸が送電ストップし、停電した。

JR関係では山陰線、伯備線、木次線、境線で運転見合わせや徐行運転のため、特急やくも1号が一時二千四分遅れたのを最高に二千九本が遅れ、二千五百人の足が乱れた。

激しい揺れ、震える住民

山陰中部震
山地

壁に亀裂、倒壊も

役場、学校にも被害

「キーン、怖い、家が壊れる」「強い揺れだ。火の始末は大丈夫か」二十八日午前、前後に続いて山陰中部を襲った直下型の地震は、島根県伯太町、島根県日南町など震源地周辺だけでなく、松江、米子両市は震度4の中震を記録、多くの市民を恐怖に陥れた。一昨年から島根県西部を中心にした群発地震があるだけに「いつまた発生するか」と不安を抱く住民も。松江、島根両地方気象台では慌たしさと緊迫感がある、観測、情報伝達に追われた。また各市町村役場でも被害の調査に追われ、職員は地震の事態把握に一日中走り回っていた。

深夜と午前の二回発生し、朽家原や広瀬町の町道など一町役場ではガラス窓五枚が、割れたり木造一軒建ての庁舎に被害が出た。伯太町では、推定され、伯太町などの老民家三戸のかわらが損壊。一舎下敷力所に、大きいもの



塗り壁が落ちた民家の客間—日南町矢戸

で一日前後のひび割れが生じた。母里小学校でも、コンクリートの渡り廊下や校舎にひび割れ。県道安来—伯太—日南線の赤原地区で

落石があり、同日夜、片側通行となった。また峠之内地区では数十メートルにわたる石の恐れがあり、三十日夕まで通行止め規制が取られた。

住民らは「映画を見ているように家や道路が大きく揺れ動いた。思わずその場に座り込んでしまった」と地震後、家の周りを歩いていた。

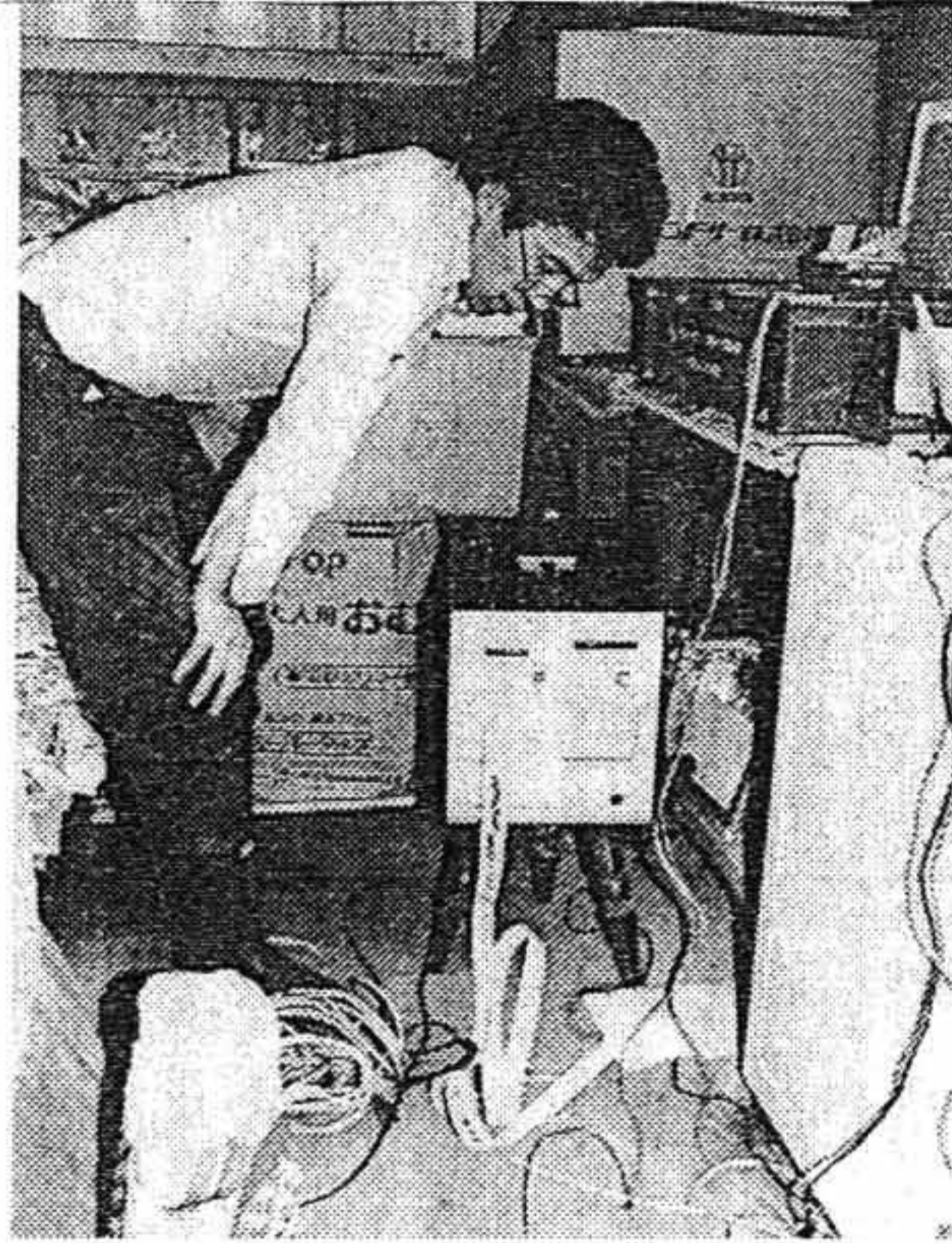
隣の広瀬町でも民家のブロック壁(長さ五メートル、高さ一・二メートル)がドサッと倒壊した。

町役場庁舎に亀裂が走り、中央公民館の消火栓が破損した。震度4を記録した松江、米子両市では、商店の陳列棚から商品が落下するなどの、突然クラックときた地震に悲鳴も。鹿島町の中国電力島根原発では点検の結果、異常がないとして運転を続けた。

は、伯備線新見駅と木次線出雲横田駅で震度5、山陰線の米子駅、松江駅で震度4を記録した。このため、木次線の赤原—備後落合間、伯備線の根雨—備中高梁間を一時運転見合わせしたほか、山陰線赤原—出雲市間、境線、伯備線米子—根雨間を十五分の徐行運転とした。この影響で特急「やくも」号が一時間二十四分遅れたのを最高に特急、快速各四本、普通三十一本の計二十九本が遅れ、二千五百人の足が乱れた。

樹に縦に音を立てて激しく揺れた日南町。矢戸地区では「生まれて初めての激しい揺れ。もう駄目」と驚愕した。二、三分の揺れは長く、怖くて助げなかった」と驚きめた顔で、亀裂の入ったモルタル壁を危うく入る住民の姿も見られた。

木次、伯備線で一時運転を見合わせJR米子支社のまごめで一時運転見合わせ、徐行運転も、この日正午前後に解除した。



地震波形記録計を設置してテストする小泉助手

広瀬町に臨時地震観測点 京大

予知体制を強化

山陰両県を二十八日午前、襲ったマグニチュード6.0の地震で、京大地震予知研究センター鳥取観測所は二十九日、震源地の広瀬町に臨時観測点を設置した。今回を含め一昨年からの県境付近で群発する地震の観測体制を強化するのが狙いで、今後どのように地震活動が推移するかを見守っていく。

臨時観測点は、同町祖父谷の無職石田美佐子さん(五五方)同観測所の小泉尚嗣助手らが、この日午前十一時半ごろから石田さん方自宅に地震波形を見る記録計を設け、約五十メートルの山斜面に地震計を置いた。記録計は震動の規模をテープに書き込むアナログ型と、フロッピーで記録するデジタル型の二機種。地震

計から電気信号で震動が伝わり、アンプを通じて波形を記録する仕組みで、微小地震をキャッチできるような高感度に設定した。

過去百年の記録では、県境付近(主に鳥取県側)でマグニチュード5.1-6の地震が八回発生。このうち元年以降が今回を含めて三回目となったほか、元年十月から一年間で約二百回の群発地震が起きている。

小泉助手は「この付近は近年、地下の活動が活発化しており、観測強化の必要が出てきた。揺れの推移を細かく記録し、解析したい」と話している。

地震被害26件

県警は二十九日、県東部を中心に二十八日午前、あった地震の被害状況をまとめた。

被害は計二十六件。内訳は、公共施設十七、民家六、道路三。伯太町、広瀬町、松江市が被害の中心で、役場や高校の壁や床にひびが入ったり、民家の屋根がわらが落ちたりした。

鳥取県
西部地震

広瀬に臨時観測地

京都大 県境付近の監視強化

山陰地方を襲ったマグニチュード(M)6の地震から一夜明けた二十九日、京都大学防災研究所付属鳥取微小地震観測所(鳥取市円護寺)は、震源地近くの鳥根県広瀬町に研究スタッフを派遣、臨時地震観測地点を設けた。同観測所が「鳥

取県西部地震」に絡んで、鳥根県内に臨時観測地点を設置したのは初めてのケース。今後、微小地震などを詳細に観測し、活発化の兆しをみせている鳥取・鳥根両県境付近の活動域の監視を強化する。

この日、観測地点を設けたのは、同町祖父谷(おじだに)の無職石田美佐子さん(五十五)方の裏山。同観測所の小泉尚嗣文部教官助手(三十三)二人が、車で現地入り。小泉文部教官助手らは早速、石田さん宅に二十四時間地震の波形などを記録するレコーダーを

セット。そこから約五十メートル離れた裏山の岩盤に、磁石とコイルが内蔵された直径約五センチ、高さ約十センチの円柱形の地震計を設置した。

二十八日朝の地震では、群発する西部地震地域から西北西に十数キロ離れた同町

所では、鳥取県西伯町下中谷など同県内にしか臨時観測地点がなかったため、新たな震源地の北約六キロの祖父谷に、地震計を設置した。

小泉文部教官助手は「西部地震と二十八日の地震の関係は、断定はできないが絡みはあると思う。M6クラスの地震が発生すると、三カ月には余震が起きるので、少なくとも二、三カ月は臨時観測点を設け、細かく監視したい」と話している。



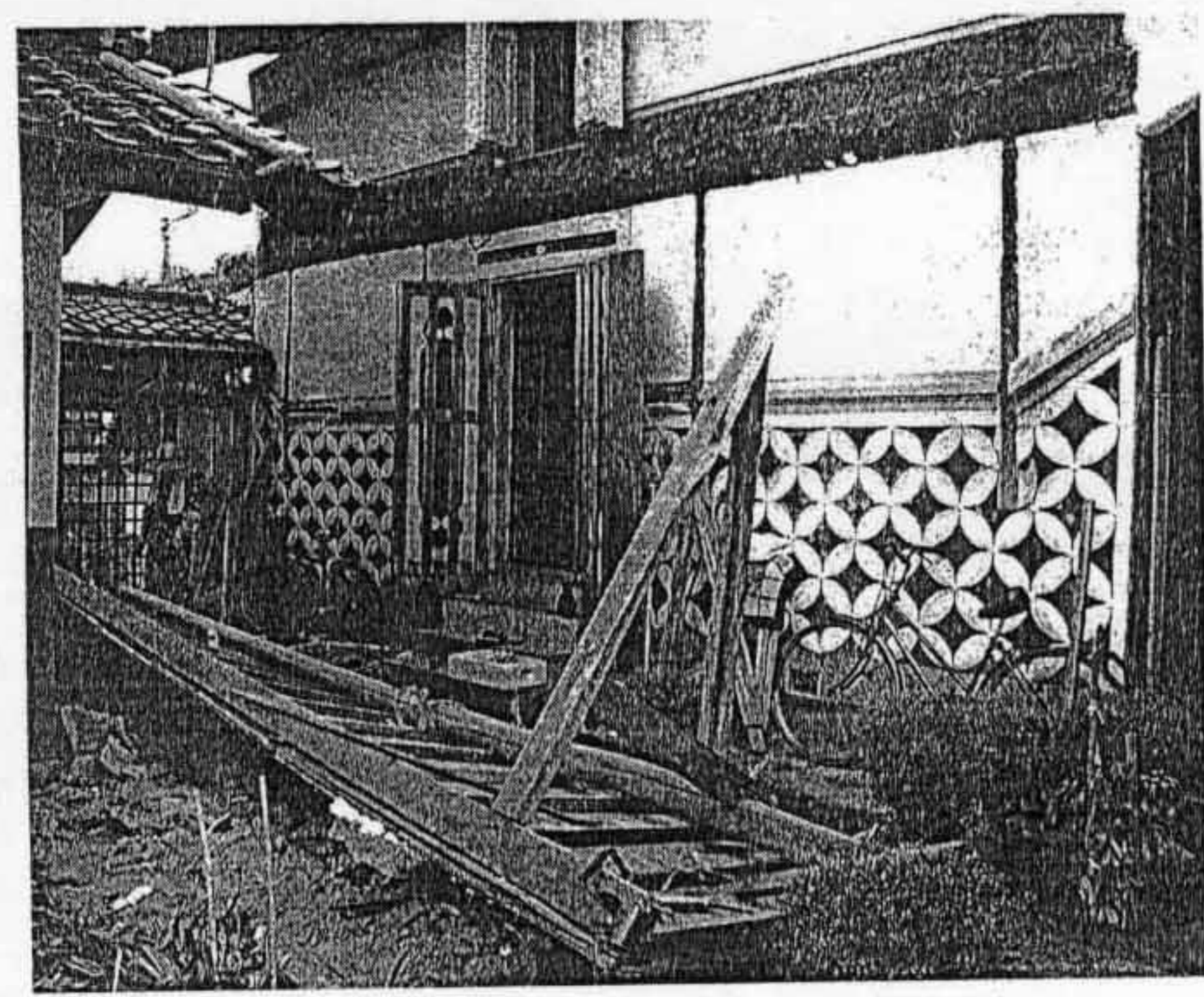
24時間地震記録計機をセットする京都大学防災研究所付属鳥取微小地震観測所の小泉文部教官助手—鳥根県広瀬町祖父谷の石田さん方

鳥取県西部中心にまた地震

震度 境港4、米子・松江3

四日前午後十二分五秒と同十六分五秒、鳥取県西部を中心に山陰地方中部から中部、近畿地方にかけての広い範囲で地震があった。山陰西部の各地の震度は、二回目の地震で境港で震度4、米子、松江で震度3を記録した。鳥取地方気象台によれば、震源地は鳥取県西部で、震源の深さは約十キロと推定された。この地震で鳥取県は午前（本部長・山田次彦生活）状況の情報収集に当たった。五時半に県災害警戒本部（環境部長）を設置し、被害を調査した。

早朝 山陰グラグラ



地震のため落下した土蔵のひさし部分＝鳥取県倉見町三崎

幅7尺の土蔵 ひさしが落下

鳥取県倉見町三崎、無職三原英雄（62）の自宅に、幅7尺の土蔵のひさし部分が落下した。英雄は、初めの揺れで目が覚め、様子を知ると、ヤマトンを使って土蔵のひさしを固定していた。土蔵のひさし部分が落下した。英雄は、初めの揺れで目が覚め、様子を知ると、ヤマトンを使って土蔵のひさしを固定していた。土蔵のひさし部分が落下した。

県西部は群発の傾向 今後も続く恐れと指摘

鳥取県西部を震源とする地震が続いていることについて、山陰地方の地震学を専門とする鳥取大学工学部教授（地震学）の西田良平（58）は、「一日からの微小地震を前触れにした一連の活動の本質は、元々、平成二年の活動に匹敵するもので、この地域では最大級のものと見られる。鳥取県西部は群発の傾向があり、今後も続く恐れがある」と指摘している。

日野、3町計器は震度5弱

今回の地震で鳥取地方気象台が発表した各地の震度のうち、最大は境港市の震度4。しかし、鳥取県が県内全市町村役場に設置している地震計のうち、日野、西伯、海口の各町の計器が震度5弱を記録し、JRが各駅に設置している地震計でも出雲横田（横田町）で震度5を記録した。

報復か 発砲相次ぐ

東京・大阪



警務所付近を現場検証 震二4日午前9時25分 里新町

警務所付近で四発の発砲があった。この部屋は指定暴力団山口組系中野会傘下の上原組が一九九四年まで事務所として使用していたが、組長とその後援役した（山陰地方）。

JR松江駅南口 ☎22-1818
堀 内科・胃腸科
診療時間
AM9:00~12:00 PM3:30~6:00
診療日
月・水・土・日

山陰の鉄道ダイヤ乱れる

4400人に影響
地震の影響で、山陰の鉄道ダイヤも乱れた。JR米子支社管内で、地震発生直後から、木次線の米道一備後後合間で運転を見合わせた。伯耆線、境線で検行運転を行った。いずれもダイヤが乱れた。

レース中衝突 競艇選手死亡

四日前午後三時三十分ごろ、津市東方の津競艇場で行われた初日第一レース中、二艇の有吉貴之選手（31）と山口徳山選手（31）が衝突した。有吉選手は、衝突直後、胸を刺さるような痛みを感じ、病院に運ばれたが約三時間後に死亡した。死因は首の動脈破裂と見られる。

皇太子夫妻が参列

皇太子ご夫妻は四日前、東京都目黒区碑文谷の円融寺で営まれた雅子さまの父方の祖母、二日死去した小和田静子さまの葬儀に参列された。静子さまは、水戸市内の自宅で老衰のため死去。遺体は、同日午後三時、水戸市で火葬された。

東京ドームが14億申告漏れ

ドーム球場を運営する総合レジャー大手「東京ドーム」（本社東京）の有価証券報告書は、保有する子会社の株式の評価損をめぐり東京国税局から一九九六年一月期に約十四億二千万円の申告漏れを指摘されたと発表された。

阪神大震災の教訓とこへ

市町村 マニユアル不徹底 非常招集行き届かず

四日発生した鳥取県西部を震源とする地震では、マニユアルの不徹底などから職員の非常招集が行き届かない市町村があるなど、平成七年の阪神大震災の教訓が必ずしも生かされていない実態が浮き彫りになった。

県西部地震

阪神大震災を教訓に県など、県内各市町村に気象分程度だった。佐藤純子総務課長は「電話でも連絡を入れるが、自主的に出動するというのがマニユアル。今回の反省から地震後に会議を開き再確認してもらった」と話す。



倒れてバラバラになった墓地の灯ろう（日野町下榎地区の墓地）

溝口町は地域防災計画の見直しの中で「震度4以上で震長級以上は出動する」ことを盛り込んだ。しかし、震度5弱を記録した今回の地震で震長級以上十二人の地震で震長級以上十二人の

た西伯町は、地域防災計画の見直しを阪神大震災前に済ませていたため地震の際の出動態勢については盛り込んでいなかった。今回出動したのも担当の係長一人だった。

加藤節雄総務課長は「これだけ地震が相次いでおり、地震の際の出動態勢についても早急に整備しなければならぬ」と不備を認める。県消防防災課によると、地域防災計画を見直した二十九市町村のうち、地震について特別の項目を設けているのは九市町村だけだ。

米子市では震度3になる必要がある」と話す。西田教授によると、平成七年一月の阪神大震災以降、九州や四国など西日本で地震活動が活発化している。しかし、中国地方では今年七月二十四日の山口県北部地震まで自立した活動がなかった。

M5級の対策検討必要 鳥大・西田教授が警告

八月末から鳥取県西部の鎌倉山南方断層付近で相次いでいる群発地震について、鳥取大学工学部の西田良平教授(地震学)は「平成元年から二年にかけての活動域が再び活発化したことを物語っているのでは。この地域での群発地震はまだ続く予想される。今後ともマグニチュード(M)5クラスの地震が発生するとの認識を立てて対策を検討する必要がある」と警告する。

一方、境港市では震度4以上にすると担当職員を呼び出すシステムが正常に作動し、地震発生から四十分後に総務課の職員を中心に十人が集合。二組に分かれて市内の被害状況を調査するなどの対応がなされた。鳥取市では同市の震度は3だったが、出動の基準はあくまで気象庁が出す震度になるという。

ふるさとを守る

行政サイド 500人が全国シンポジウム

岸本



なぎさの再生などについて話し合ったパネルディスカッション

「人工の環境の中で生き物を育てるのは大変だが、自然の海は自然の手で多くの命をまわっている」と、貴重な自然のなぎさの保護を訴えた。



書道芸術院は全国で二番目に古い書道団体で、会員や書道講習会、海外展など積極的に活動を展開している。今回は創立五十周年事業



新日本新聞社は、入学・就職試験、ビジネス文書の作成などに役立つ漢字能力検定試験を次の通り実施します。全国規模の公開試験です。ふるごと参加下さい。

漢字能力検定試験

11月2日 県内3会場

- ◇とき 11月2日
- ◇検定料 9級〜7級 8340円▽東部会場(日)午前9時30分、同(小)午後1時から、同(中)午後1時から、同(高)午後1時から、所要時間(中学以下程度)各20〜30分
- ◇ところ 西部会場(新日本新聞社) 初段(同)3000円▽2段(同)4000円▽3段(同)4500円(いずれも内税。初段は10月23日(木)必着)
- ◇申し込み 申し込み締め切りは10月23日(木)必着
- ◇申し込み 申し込み締め切りは10月23日(木)必着
- ◇申し込み 申し込み締め切りは10月23日(木)必着

☆後援事業
△5日(小)田和正コンサート(午後6時半開演)鳥根県民会館(▽)△6日(小)根県民会館(▽)△7日(小)根県民会館(▽)△8日(小)根県民会館(▽)△9日(小)根県民会館(▽)△10日(小)根県民会館(▽)△11日(小)根県民会館(▽)△12日(小)根県民会館(▽)△13日(小)根県民会館(▽)△14日(小)根県民会館(▽)△15日(小)根県民会館(▽)△16日(小)根県民会館(▽)△17日(小)根県民会館(▽)△18日(小)根県民会館(▽)△19日(小)根県民会館(▽)△20日(小)根県民会館(▽)△21日(小)根県民会館(▽)△22日(小)根県民会館(▽)△23日(小)根県民会館(▽)△24日(小)根県民会館(▽)△25日(小)根県民会館(▽)△26日(小)根県民会館(▽)△27日(小)根県民会館(▽)△28日(小)根県民会館(▽)△29日(小)根県民会館(▽)△30日(小)根県民会館(▽)

今日は創立五十周年事業

鳥取県西部で強い地震

境港で震度4、米子など3

M5.5とM4.7

午前五時十二分ごろ、鳥取県境港で震度4、米子、松江、落合、小豆島、近畿地方にかけ、観音寺▽震度2、岩美、智頭、豊岡、加古川、相生、出雲、大東、益田、大田、新見、岡山、倉敷、備前、鴨方、三次、三原、福山、広島、呉、黒瀬、徳島、鳴島、池田、高松、多度津、安芸、岩国▽震度1、鳥取、倉吉など。

鳥取県消防防災課と科学技術庁の調べによると、このほかの鳥取県西部の最大震度は、震度5弱▽西伯、日野、溝口▽震度4▽倉見▽震度3▽日吉津、淀江、大山、中山、日南、江府▽震度2▽名和。

鳥取県は地震発生直後の午前五時半、県災害警戒本部(山田次彦本部長)を設け、被害状況の集約を行なった。それによると、

断水、落石など相次ぐ JRも混乱

鳥取県は地震発生直後の午前五時半、県災害警戒本部(山田次彦本部長)を設け、被害状況の集約を行なった。それによると、

鳥取県西部で土蔵のひさしの破損や灯りの転倒、断水、JRの落石などの被害が相次いだ。JRのダイヤも大幅に乱れたが、地震による被害はなかった。

倉見町三崎の三原英雄さん(67)は、土蔵のひさし(奥行二メートル、幅七メートル)が落ち、土蔵のひさし下の地面に落ち、三原さんは「こんなこと初めて。部屋に落ちていた本が落ちたかと思ったが、ひさしが落ちていた。支柱を取り付けて落ちないようにしなければ」と、度重なる地震に不安そうだった。

岸本町丸山地区では、約六十世帯が一時的に断水した。町によると、簡易水道の調整池の制水弁が地震で壊れて、水源から丸山地区に給水するはずの水が溢れ出して消耗したためという。

日野町内では、墓地の灯ろう二十基が倒壊したほか、民家や倉庫の屋根がわがわが、記念碑が傾き、ゴミ置き場のブロック塀が壊れた。

一方、JR米子支社によると、警戒のため伯備線の根雨-新見、境線の米子-境港、木次線の糸道-備後落合でそれぞれ徐行運転を行った。伯備線の出雲市発岡山行き上り特急「やくも」2号機が六分四十分遅れるなど、特急二本、快速と普通二十三本の合計二十五本がなかった。

みなと博に被害なし

境港市竹内団地の夢みなと博会場では、夢みなと博と博覧会では、夢みなと博に被害がなかった。協会運営部の衣笠克則部長によると、二人から「すごい揺れを感じ、十二個のTVモニターも揺れた。だが、モニターの画面を通して異常は確認されていない」との報告があった、という。

警備本部は、二十四時間態勢で、会場内十二カ所に設置している監視カメラからの映像をチェックしている。協会では、運営部、施設部の職員が午前六時から現場を巡回し、建物に異常はなく、遊園地・トリビランド、各企業、パビリオンでも開場前に精密機器類を点検し、故障はなかった。衣笠部長は、この数日地震が頻発していることについて「万一の場合に備えて気を引き締めたい。仮に開場時に地震があれば、状況に応じて、安全度の場内放送や入場客の避難誘導を徹底したい」と話していた。



三原さん方であわらとともに落下した土蔵のひさし

日野産など2校授業を遅らせる

四日早朝発生した地震の影響で、鳥取県西部の高校二校で遅刻者が相次ぎ、授業の開始時間をそれぞれ四十分繰り下げる措置をとった。

鳥取県によると、授業開始を繰り下げたのは、根雨高(遅刻者百七十九人)と高野高(遅刻者百七十九人)の二校(七十一名)。遅刻は伯備線の遅れが原因で、他の高校では若干の遅刻者があったものの授業を予定通り行った。小中学校への影響はなかった。

最高二時間五分から十分遅れた。木次線では普通四本が遅れた。山陰線は影響がなかった。

倉吉市では今日一日、二十代の女性から〇一五七を検出。この女性と今回の女性の同居は距離が離れているが、同保健所は行動範囲や食料の購入先などに共通点がないか調べている。

今年四月以降、鳥取県内の腸管出血性大腸菌による患者・保菌者は十三人となった。昨年度を三入上回っており、県は今日十日、第四回腸管出血性大腸菌感染症対策会議を開催する。

鳥取県西部で先月三十一日から四日にかけて起きた地震の震源は、鎌倉山南方断層と呼ばれ、西伯、溝口、日野三町の境にある鎌倉山(標高七三〇・九)の南側から日野町の鶴池付近にわたる地帯で、日野町久住地区を東西に走っている。

鳥取県で最近発生した地震は▽平成元年十月末から十一月にかけて起きた震度3でマグニチュード5.1▽平成三年八月二十七日、震度3でマグニチュード4.4▽平成八年四月一日、震度3でマグニチュード4.0。

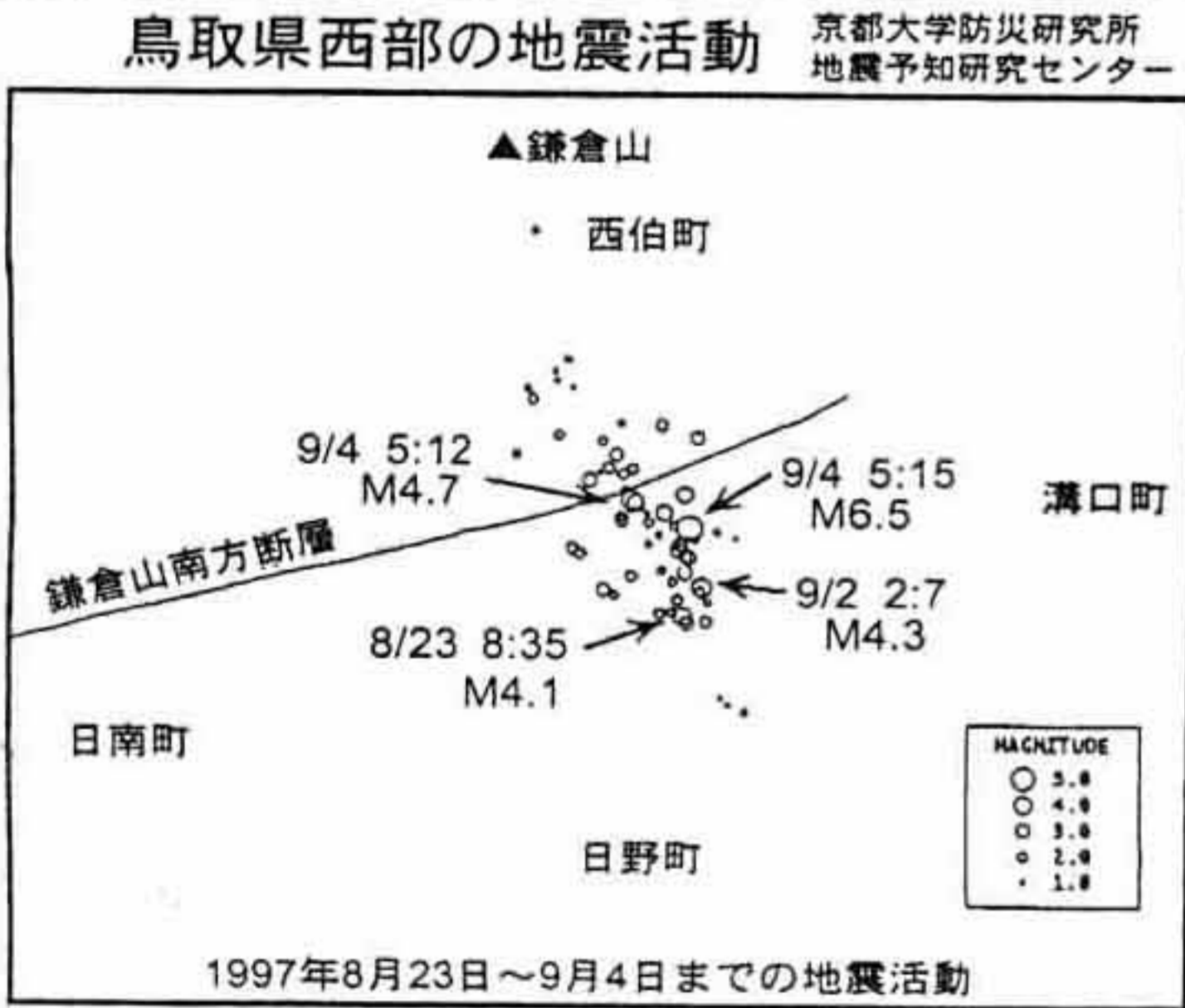
これらの地震の震源は、いずれも鎌倉山南方断層付近に集中しており、過去八十年間に震度3以上の地震を五回も起こしている。震源の深さは五から一〇キロ以内と比較的浅く、鎌倉山の南から断層に直交する形で分布していることが鳥取大学などの分析で明らかになっている。

断層が東西方向からの強い力に耐え切れず、弱い部分でずれ、地震が起ると考えられている。

震度3以上 8年で5回

鎌倉山南方断層

鳥取県西部で先月三十一日から四日にかけて起きた地震の震源は、鎌倉山南方断層と呼ばれ、西伯、溝口、日野三町の境にある鎌倉山(標高七三〇・九)の南側から日野町の鶴池付近にわたる地帯で、日野町久住地区を東西に走っている。



鳥取県西部で先月三十一日から四日にかけて起きた地震の震源は、鎌倉山南方断層と呼ばれ、西伯、溝口、日野三町の境にある鎌倉山(標高七三〇・九)の南側から日野町の鶴池付近にわたる地帯で、日野町久住地区を東西に走っている。

鳥取県で最近発生した地震は▽平成元年十月末から十一月にかけて起きた震度3でマグニチュード5.1▽平成三年八月二十七日、震度3でマグニチュード4.4▽平成八年四月一日、震度3でマグニチュード4.0。

これらの地震の震源は、いずれも鎌倉山南方断層付近に集中しており、過去八十年間に震度3以上の地震を五回も起こしている。震源の深さは五から一〇キロ以内と比較的浅く、鎌倉山の南から断層に直交する形で分布していることが鳥取大学などの分析で明らかになっている。

断層が東西方向からの強い力に耐え切れず、弱い部分でずれ、地震が起ると考えられている。

堀 昌雄氏(ほり ますお) 鳥取県立病院(鳥取市)院長。8月29日午後11時35分、肺炎のため東京都港区の病院で死去、80歳。京都市出身。自宅は東京都杉並区清水3-26-24。葬儀・告別式は既に済んだ。喪主は二男(〇〇)氏。

58(昭和33)年、旧兵庫2区から初当選、計11期衆議院議員を務めた。社会党政審会長など歴任した。

平成12年10月29日 熊谷謙作氏

平成12年鳥取県西部地震に伴う聞き取り調査

平成12年 月 日実施

- 1.あなたの性別と年齢をお答え下さい ①男性 才 ②女性 才
 - 2.地震の感じ方はどうでしたか。
 - 3.地震が起きたときにどこにいましたか。
 - 4.地震のとき、最初にどんな行動をしましたか。
 - 5.地震のとき火気を使っていましたか。
 - 6.使用していた火気から火災が起こりそうになりましたか。
 - 7.火災が起こりそうになったその理由は何ですか。
 - 8.火の始末をされましたか。
 - 9.消火器などを備えていましたか。
 - 10.非常持ち出し品の備えはありましたか。
 - 11.家具などの転倒落下防止はしていましたか。
 - 12.転倒落下したものはなんですか。
 - 13.あなたの家の周りではどのような被害が発生しましたか。
 - 14.あなたの家の被害はどのくらいでしたか。①全壊 ②半壊 ③一部壊 ④被害なし
 - 15.あなたや近所の方で怪我はありませんでしたか。
 - 16.怪我をした方は何が原因ですか。
 - 17.地震後に近所の方達とどんな関係をされましたか。
 - 18.地震時に最も有効であったものはどれですか。
① テレビ、ラジオの情報 ②近所の連携 ③防災無線等の情報 ④電話 ⑤その他
 - 19.地震の後、一番困ったことは何ですか。
① 電気 ②水道 ③家屋損壊 ④ガス ⑤電話 ⑥人手不足 ⑦その他
- ※ 今回の地震で特に変わったことはなんですか。
- ① 家具の転倒状況
 - ② 家の揺れ方。
 - ③ 地震の音
 - ④ その他特徴的なこと。

災害現場写真



安来市切川町 建物全壊状況



安来市新十神町 液状化地区県知事視察



安来市市役所 災害対策本部



同上 屋根シート配布状況



安来市吉佐町 土蔵壁崩落状況



同上 屋根損壊状況



安来市門生町 土蔵壁崩落状況



安来市門生町 河川堤防地割れ現象



安来市恵乃島町 海岸堤防破壊沈下状況



安来市新十神町 住宅地（埋め立て地）液状化現象



伯太町須山 母屋下を縦断する地割れ



同上 石垣崩落状況



伯太町須山 母屋下を縦断する地割れ



同上 墓石全倒壊状況



伯太町福留地内 住宅被災状況 (避難所開設地域)

